

25. みどりの食料システム戦略推進総合対策

令和9年度予算概算要求額 7,591百万円（前年度 574百万円）

<対策のポイント>

環境と調和のとれた食料システムの確立に向け、みどりの食料システム戦略の取組を加速化するため、みどり認定者等の取組の定着・拡大を総合的に支援するとともに、「みどり加速化GXプラン」に基づき、食農分野におけるGXの取組に対する民間投資拡大に向けた取組を支援します。

<政策目標>

化学農薬・化学肥料の使用量低減等、みどりの食料システム戦略に掲げたKPI等の達成〔令和12年〕

<事業の全体像>

みどり加速化GXプラン

～2030年までを目途に
集中的に取り組むべき施策～

- ✓ GX投資拡大に向けた新たな視点
- ✓ 気候変動への適応策強化
- ✓ 国際情勢に左右されない食料生産の確保



みどりの食料システム戦略の取組を加速化し、食料安全保障の確保に向けた取組や民間投資を促進

みどりの加速化支援交付金

～新たな環境直接支払交付金と併せて

みどり認定者等の取組の定着・拡大に向けた総合的な支援～

- 都道府県を中心としたみどりサポートチームによるみどり認定者等の取組の伴走支援
- 化学農薬・化学肥料の使用低減技術や気候変動適応技術等の実証
- 産地・消費地間連携、スマート農業技術導入による有機農業の取組の拡大
- みどり認定者等が行う除草機や堆肥舎などの機械・施設の導入 等を支援

食農GX投資拡大促進事業

～民間投資を呼び込み、GX価値創造と市場拡大につなげる取組を推進～

- 生産現場におけるGHG排出削減の取組を川上から川下まで関係者が連携して付加価値を訴求する取組
- 新素材（バイオスティミュラントなど）の開発・製造及び普及
- ネイチャーポジティブの取組による食品・農産物の付加価値向上の取組
- 太陽光や地域バイオマスを活用したエネルギー循環、プラスチック対策の取組 等を推進

環境と調和のとれた食料システムの確立に向けた環境整備

- 2027年国際園芸博覧会における国内外に向けた持続可能な食と農の情報発信
- 有機農業の生産・流通を支える情報プラットフォームの構築 等を推進

農業者等の環境負荷低減の取組が増大・定着化

環境と調和のとれた食料システムの確立

【お問い合わせ先】 大臣官房みどりの食料システム戦略グループ（03-6744-7186）